

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBI米国小型成長株ファンド（愛称：グレート・スモール）」は2024年11月25日に第10期決算を行いました。

当ファンドは、SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第10期末（2024年11月25日）

基準価額	24,773円
純資産総額	1,226百万円
第10期	
騰落率	11.8%
分配金（税込み）合計	0円

（注1）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

（注2）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

（注3）当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択 ⇒ 「目論見書・定期レポート等」を選択 ⇒ 「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

SBI米国小型成長株ファンド （愛称：グレート・スモール）

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第10期（決算日：2024年11月25日）

作成対象期間（2024年5月28日～2024年11月25日）

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

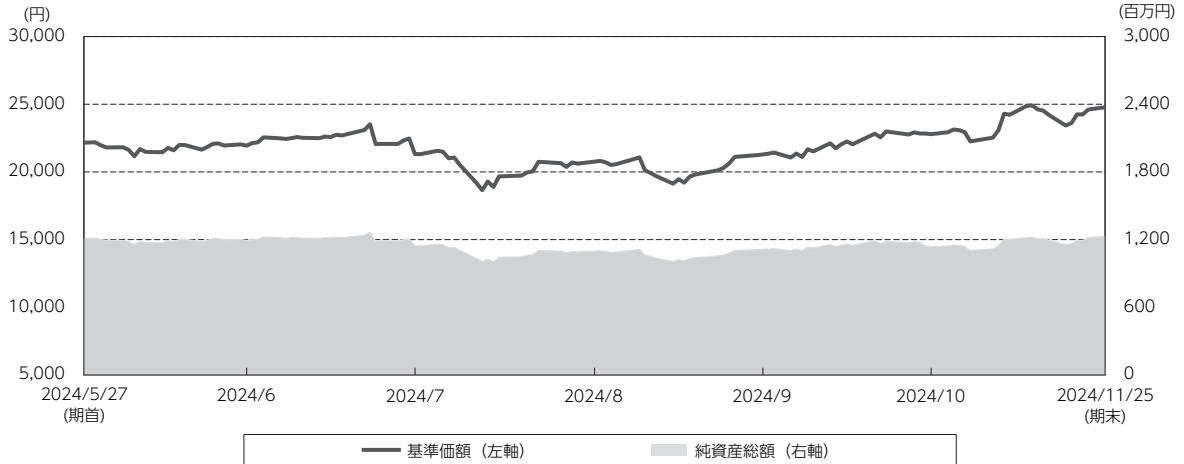
ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<https://www.sbiam.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移

（2024年5月28日～2024年11月25日）



期 首：22,164円

期 末：24,773円（既払分配金（税込み）：0円）

騰 落 率：11.8%

（注1）当ファンドは、SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

（注2）当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・米連邦準備制度理事会（FRB）の金融政策の緩和
- ・米国景気のソフトランディングへの期待
- ・ドナルド・トランプ氏の大統領選当選期待の上昇にともなう株高
- ・対円で米ドルが上昇したこと

下落要因

- ・根強い米インフレや堅調な米経済指標によりFRB早期利下げ観測が後退したこと
- ・中東情勢の緊迫化によりリスク回避が強まったこと
- ・米景気減速・後退懸念が強まったこと

1万口当たりの費用明細

(2024年5月28日～2024年11月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	169 (95) (71) (3)	0.782 (0.439) (0.329) (0.014)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	14 (14)	0.063 (0.063)	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	0 (0)	0.002 (0.002)	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (印 刷)	99 (79) (6) (13)	0.456 (0.366) (0.029) (0.061)	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	282	1.303	
期中の平均基準価額は、21,654円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

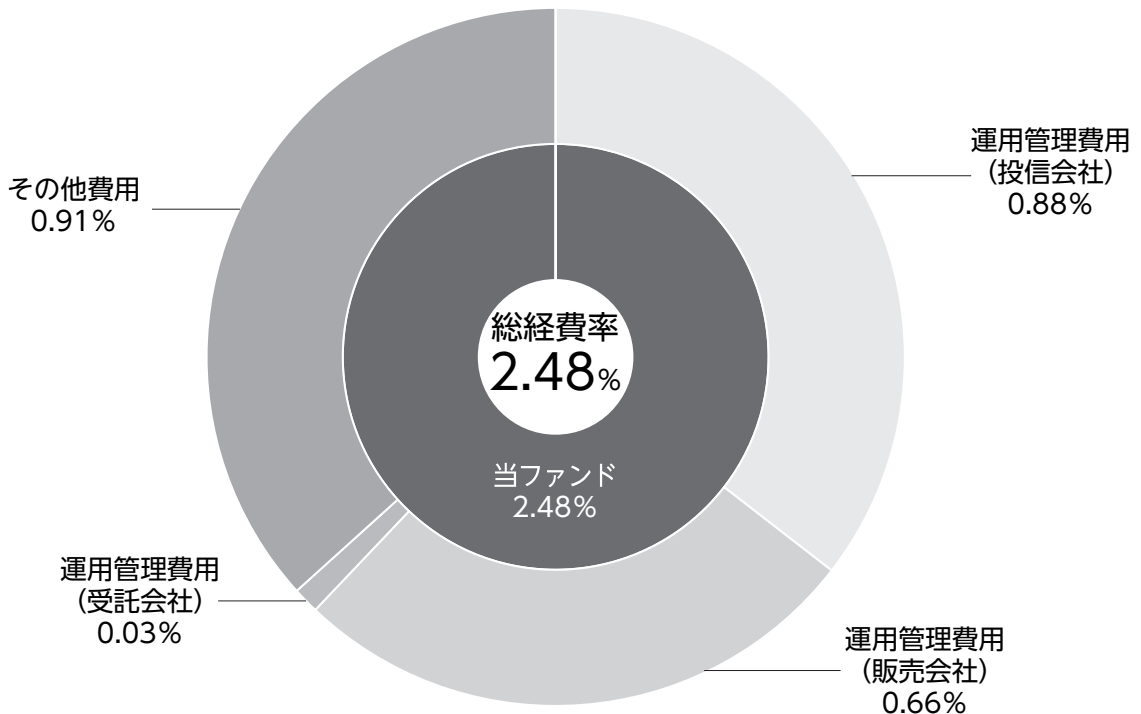
(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.48%です。



(注1) 上記費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

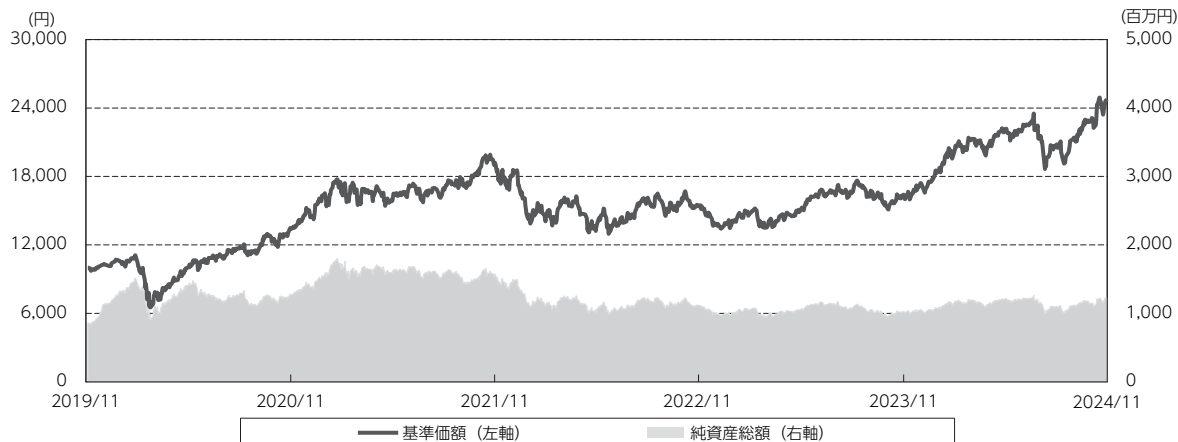
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。実績報酬は、各期末時点の運用実績に応じて委託会社が受け取る運用の対価ですが、他の費用と同様に年率換算しています。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2019年11月25日～2024年11月25日）



(注1) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ（2019年11月29日から2024年11月25日）のみの記載となっています。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

		2019年11月29日 設定日	2020年11月25日 決算日	2021年11月25日 決算日	2022年11月25日 決算日	2023年11月27日 決算日	2024年11月25日 決算日
基準価額	(円)	10,000	13,395	19,218	15,417	16,401	24,773
期間分配金合計（税込み）	(円)	－	0	0	0	0	0
基準価額騰落率	(%)	－	34.0	43.5	△19.8	6.4	51.0
純資産総額	(百万円)	854	1,265	1,570	1,112	1,025	1,226

(注1) 当ファンドは、SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2020年11月25日の騰落率は設定当初との比較です。

投資環境

（2024年5月28日～2024年11月25日）

※下記のコメントは、当ファンドのマザーファンドにおいて実質的な運用を行っている、ドリーハウス・キャピタル・マネジメントLLCからのコメントをSBIアセットマネジメントにて和訳・編集したものです。

<米国株式>

当半期は、ラッセル2000インデックスはS&P500をアウトパフォームし、両インデックスとも10%半ばのリターンとなりました。

2024年7月には、7月11日発表の米消費者物価指数（CPI）が予想を大きく下回り、パウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長の本派的な発言も相まって米金利が大きく低下したことや、ドナルド・トランプ氏の暗殺未遂事件で同氏の世論調査での支持が急上昇し、さらに、ジョー・バイデン氏の健康不安が続き、突然大統領選から離脱したことで、ドナルド・トランプ氏が11月に勝利する確率が劇的に高まり、株価上昇への期待から株価は大きく上昇しました。

8月には、月初、S&P500種株価指数は6%以上下落し、ナスダック総合株価指数とラッセル2000種株価指数はともに10%近く下落しました。この急落は、円キャリー・トレードの一部解消によるものでした。さらに、7月の非農業部門雇用者数は予想を大きく下回り、失業率は4.3%と7月の4.1%から上昇しました。これにより、サム・リセッション・インディケーターが発動され、景気後退への懸念が高まりました。その後、いくつかの経済指標が堅調に推移し、好調な決算シーズンが続いたため、株式相場は急速に安定し上昇基調へ戻りました。

期末にかけては、インフレ・データが引き続き低下傾向を示し、FRBが9月中旬に50bp、11月にも25bpの利下げを実施し、利下げサイクルを開始したこと、そして11月初旬の米大統領選挙でトランプ氏が勝利したことから、小型株と株式全般が大きくプラスに反応しました。

当半期、ファンドはラッセル2000グロース指数に対してアンダーパフォームしました。ヘルスケアセクター、特に医療機器に関連する銘柄への投資が主なマイナス要因でした。また、エネルギー、生活必需品、素材への投資もマイナス要因となりました。これに対して、資本財・サービス、一般消費財・サービスセクターでの銘柄選択がプラス要因となりました。

ラッセル2000グロース指数と比べて、セクター別で最も比率が増加したのは、情報技術と一般消費財セクターでした。情報技術セクターでは、当ファンドは期初にアンダーウェイトでスタートしましたが、期末には若干のオーバーウェイトとなりました。人工知能（AI）は強力な変革テーマとして引き続きポジティブに捉えています。特に、短中期的には、データセンターと関連するAIインフラへの設備投資（資本支出）は引き続き堅調で持続可能であると考えます。2025年と2026年には設備投資の増加は減速すると予想されますが、AIインフラ投資は引き続き堅調に推移すると考えます。

エネルギー関連では、当ファンドはベンチマークと同じウェイトで期初を迎え、期中に小売、レジャー、住宅建築の新規ポジションを追加し、ファンドのエクスポージャーを増やしました。労働市場が健全に推移し、消費者の純資産が過去最高を記録し、金利が低下傾向にあることから、個人消費については前向きな見通しを持っています。

一方、セクター別で最も比率が減少したのは、エネルギーとヘルスケアセクターでした。エネルギーのウェイトの減少は、主に原油価格の下落に関連したセクターのパフォーマンス低下によるものであり、ヘルスケアのウェイトの減少は個別企業要因によるものです。保有するバイオテクノロジー銘柄は、重要な疾患適応症において、優れた有効性と安全性を示す非常に有望で革新的な臨床段階の治療薬を有していると考えられています。

<為替>

期初1ドル157円近辺で始まりました。日本の緩和的な金融環境が意識されるなか、円安／ドル高の流れは変わらず、7月初旬に162円近辺まで上昇しました。その後、米消費者物価指数（CPI）の下振れを受けて9月の利下げ観測が強まる中、日本の通貨当局による円買い介入により円高／ドル安が進行し、8月には日銀が政策金利の引き上げを決定したことから追加利上げにも積極姿勢を見せたことで日本株の暴落とともに一気に141円台まで円高／ドル安が進みました。その後反発し、1ドル150円手前まで円安／ドル高になりましたが、9月にかけては、予想より弱い米指標が発表されたことを受け、米国の景気後退懸念が強まり円高／ドル安が進行し、一時1ドル140円を切る局面もありました。期末にかけては、堅調な米雇用統計で景気後退懸念が後退したことや大統領選挙でトランプ氏が勝利したことから、円安／ドル高が進行し、1ドル151円近辺で期末を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

（2024年5月28日～2024年11月25日）

<当ファンド>

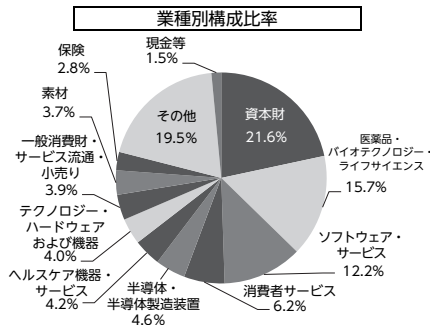
主要投資対象であるSBI米国成長株・マザーファンド受益証券を高位に組入れ、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

<SBI米国成長株・マザーファンド>

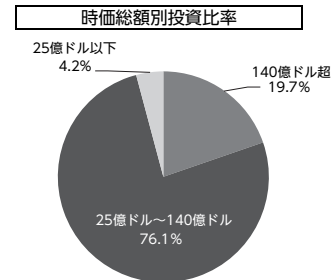
主として、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

また、流動性と時価総額によるスクリーニングを行い、利益、売上の成長率及び株価のモメンタム（相場の勢い（強弱）や方向性を判断する指標の一つ）等に着目し、原則として80～120銘柄程度に分散投資し、運用いたしました。

なお、決算日時点のポートフォリオについては以下の通りとなっています。



※比率は、マザーファンドの純資産総額に対する割合です。
※記載の比率は、四捨五入の関係で100%にならない場合があります。



※比率は、マザーファンドの組入株式評価額合計に対する割合です。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2024年5月28日～2024年11月25日）

当ファンドは、SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

分配金

（2024年5月28日～2024年11月25日）

当期は、当ファンドの収益分配方針に基づき、収益分配可能額を算出し、市況動向や基準価額等を考慮した結果、当期の収益分配は行わないことといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第10期
	2024年5月28日～ 2024年11月25日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	14,772

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の見通しと運用方針

<当ファンド>

引き続き、SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。

<SBI米国成長株・マザーファンド>

当該投資信託の運用再委託先である、ドリーハウス社は、以下のようにコメントをしています。

※下記のコメントは、当ファンドのマザーファンドの実質的な運用を行っている、ドリーハウス・キャピタル・マネジメントLLCからのコメントをSBIアセットマネジメントが和訳・編集したものです。

【米国株式市場の見通し及び投資戦略】

米国株全般については前向きな見通しです。景気低迷のリスクやディスインフレの後退など、いくつかの弱気な懸念やリスクよりも強みを上回ると考えています。その他のリスクには、利益成長トレンドの減速、米国の政治的機能不全、米国外の地政学的問題があります。

トランプ次期政権の政策については不確定要素が多いですが、選挙戦で示された方針やトランプ氏1期目のデータを見ると、投資家がどんな期待をしているかがわかります。多くの投資家は、関税の引き上げ、規制負担の軽減、減税措置の延長、エネルギー生産の活性化、移民問題への対応、政府支出の削減が進むと予想しています。資本財および素材セクターのいくつかの銘柄は、エネルギー輸出の増加とともに、許認可の合理化、製造・建設の活発化から恩恵を受けるはずで、保有している金融セクターにおけるフィンテックとファイナンシャル・アドバイザー銘柄の保有は、よりビジネス・フレンドリーな規制アプローチと合併承認に対するより緩やかなスタンスによって恩恵を受けると考えています。

トランプ新政権の下での政策的位置づけや結果には、財政赤字の規模、金利とインフレの方向性、外交関係と地政学的ホットスポットの進化、新設予定の政府効率化省の有効性、新指導部が医療支出やイノベーションにどのようにアプローチするかなど、依然として不確実性の高いものがあります。このため、ヘルスケアセクターと政府サービス産業におけるポジションにさまざまな影響が及ぶ可能性があり、これらの動向を注視していきます。

トランプ氏の大統領1期目の特徴は予測不可能性にあり、投資家は政策の変更に驚かされることが多々ありました。この経験を活かし、トランプ大統領の優先事項がより明確になるにつれて、私たちは素早くポートフォリオのエクスポージャーやポジションを調整し、機敏で活発なアプローチを取ることに努めます。

大型株がここ数年パフォーマンスを上げてきた主な理由は、収益が好調だったからですが、今後、コンセンサス予想に基づくと、小型株は来年以降利益成長が加速すると予想されます。

お知らせ

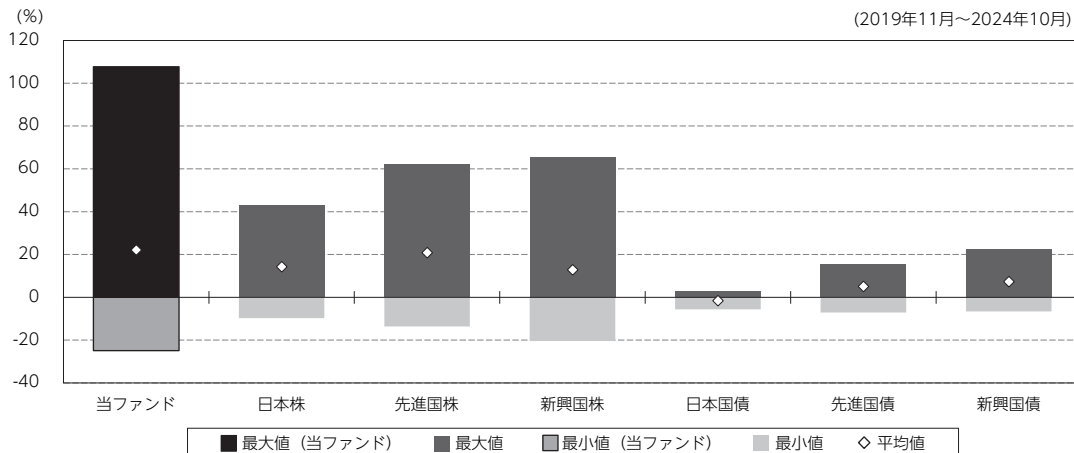
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限（設定日：2019年11月29日（金））	
運用方針	SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド（ベビーファンド）	SBI米国成長株・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド（ベビーファンド）	SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。なお、マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。
	マザーファンド	原則として、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざします。
分配方針	年2回（5月と11月の各25日。休業日の場合は翌営業日）決算時に分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益及び売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により分配を行わないことがあります。なお、収益分配にあてず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	107.7	42.8	62.2	65.6	2.9	15.3	22.7
最小値	△ 24.9	△ 9.8	△ 13.6	△ 20.4	△ 5.6	△ 7.1	△ 6.6
平均値	22.1	14.2	20.8	12.8	△ 1.6	5.0	7.3

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2019年11月から2024年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては設定日以降の騰落率データが5年に満たないため、2020年11月末から2024年10月末のデータを基に算出しています。したがって、代表的な資産クラスとの比較対象期間が異なります。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数（除く日本）

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数（除く日本）

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

*海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

*各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2024年11月25日現在)

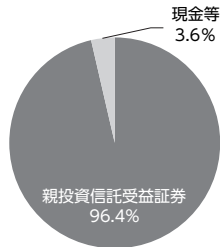
○組入上位ファンド

銘柄名	第10期末
SBI米国成長株・マザーファンド	% 96.4
組入銘柄数	1銘柄

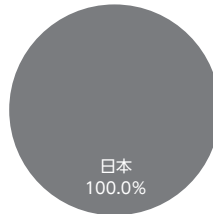
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

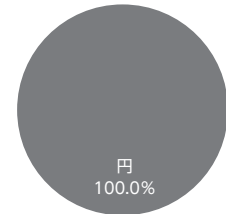
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

純資産等

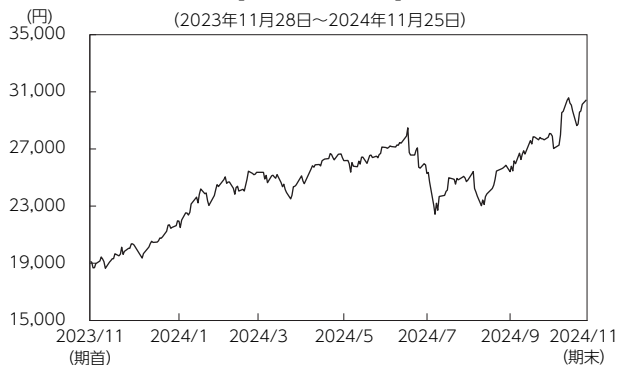
項目	第10期末
	2024年11月25日
純資産総額	1,226,244,259円
受益権総口数	495,000,221口
1万口当たり基準価額	24,773円

(注) 期中における追加設定元本額は33,662,037円、同解約元本額は85,108,249円です。

組入上位ファンドの概要

SBI米国成長株・マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2023年11月28日～2024年11月25日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	34円 (34)	0.139% (0.139)
(b) 有価証券取引税 (株式)	1 (1)	0.003 (0.003)
(c) その他費用 (保管費用)	203 (203)	0.834 (0.834)
合計	238	0.976
平均基準価額は、24,376円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

(2024年11月25日現在)

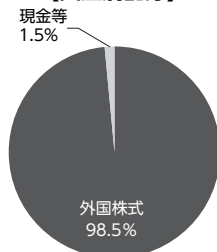
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	FTAI AVIATION LTD	資本財	米ドル	米国	2.7
2	CRINETICS PHARMACEUT	医薬品等	米ドル	米国	2.4
3	MODINE MANUFACTURING	自動車・自動車部品	米ドル	米国	2.0
4	COHERENT CORP	テクノロジー・ハードウェア	米ドル	米国	1.9
5	SPROUTS FARMERS MARK	生活必需品流通・小売り	米ドル	米国	1.8
6	CORE SCIENTIFIC INC	ソフトウェア・サービス	米ドル	米国	1.7
7	SWEETGREEN INC - CLA	消費者サービス	米ドル	米国	1.7
8	ASTERA LABS INC	半導体関連	米ドル	米国	1.7
9	NATERA INC	医薬品等	米ドル	米国	1.6
10	FRESHPET INC	食品・飲料・タバコ	米ドル	米国	1.6
組入銘柄数			117銘柄		

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

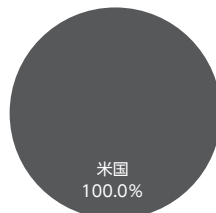
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

(注3) 国(地域)につきましては発行国を表示しています。

【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは2024年11月25日現在のものです。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分につきましては発行国を表示しています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

<各指数の概要>

- 日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

<重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はモーニングスター・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成又は算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与していません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。